

# 第12回 EST普及推進フォーラム実施概要

EST(Environmentally Sustainable Transport:環境的に持続可能な交通)の普及促進を図るため、ESTの取組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第12回 EST普及推進フォーラム」を開催した。また、「第10回 EST交通環境大賞※」の表彰を本フォーラムの中で行った。基調講演にてパリ協定に向けた持続可能な交通システムについて学び、受賞講演により優良事例を共有した後に、パネルディスカッションにてパリ協定に向けた持続可能な交通システムについて検討した。

当日は、EST・交通環境対策について関心を持つ方々を中心に138名が参加した。フォーラム、表彰式の模様は2019年5月16日の交通毎日新聞で記事として掲載された。また、みんなと湊まちづくりネットワーク・会津若松市がEST交通環境大賞の大賞 環境大臣賞を受賞した旨は2019年5月14日の福島民報、2019年5月15日の福島民友に、大分市が優秀賞を受賞した旨は2019年5月14日の大分合同新聞に記事として掲載された。

※地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が2009年度に創設した表彰制度。

日時:2019年5月13日(月) 13:30~17:00  
 会場:ルポール麹町「ロイヤルクリスタル」(東京都千代田区平河町2-4-3)  
 主催:EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団  
 後援:国土交通省、環境省、警察庁、一般社団法人日本自動車工業会、  
 公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会、



←開催風景

広報チラシ→



「第12回 EST普及推進フォーラム」開催ご案内  
 パリ協定に向けた持続可能な交通システム



【写真】左上:小豆島の公共交通サービス(小豆島地域公共交通協議会)。  
 中上:通勤で便利にするために「乗降地帯」を確保(会津若松市)。  
 右上:駅前広場、シンボルロード整備がなされた大分駅(大分市)。  
 左下:小学校で「環境」に関する授業(環境にやさしい交通手段)。  
 中下:ご当地キャラ「まほろば」の期間限定の公共交通のPRを行うキャラクター(湖東圏公共交通活性化協議会)。  
 右下:新交通方式が実現した「未来の交通」(国土交通省)。

EST(Environmentally Sustainable Transport:環境的に持続可能な交通)の普及促進を図るため、ESTの取組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第12回 EST普及推進フォーラム」を開催します。

また、「第10回EST交通環境大賞」の表彰を本フォーラムの中で行います。基調講演にてパリ協定に向けた持続可能な交通システムについて学び、受賞講演により優良事例を共有した後に、パネルディスカッションにてパリ協定に向けた持続可能な交通システムについて検討します。

EST・交通環境対策の最新情報を入手し、優良事例を共有した上で、現状の課題を検討する絶好の機会となりますので、皆様の参加をお待ち申し上げます。

※地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が平成21年度に創設した表彰制度。

日時:2019年5月13日(月) 13:30~17:00(13:00受付開始)  
 会場:ルポール麹町2階「ロイヤルクリスタル」  
 〒102-0093 千代田区平河町2-4-3  
 主催:EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団  
 後援:国土交通省、環境省、警察庁、一般社団法人日本自動車工業会、  
 公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会



## 開会挨拶・基調講演

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団、国土交通省からの開会挨拶のあと、基調講演が行われた。

### ○開会挨拶

岩村 敬 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 会長

山上 範芳 国土交通省総合政策局 次長



### ○基調講演

「パリ協定に向けた持続可能な交通システム」

室町 泰徳 東京工業大学環境・社会理工学院准教授



## 表彰式・受賞団体講演

基調講演に続き、第10回 EST交通環境大賞の表彰式が行われ、菅家環境大臣政務官の来賓挨拶、菅家環境大臣政務官、国土交通省山上次長、EST普及推進委員会 太田委員長から各賞授与 及び、太田委員長から審査講評が行われた。

その後、休憩の後、受賞団体から受賞団体講演が行われた。

### ○表彰式

菅家 一郎 環境大臣政務官

山上 範芳 国土交通省総合政策局 次長

太田 勝敏 東京大学 名誉教授

【大賞 環境大臣賞】みんなと湊まちづくりネットワーク・  
会津若松市

【大賞 国土交通大臣賞】小豆島地域公共交通協議会

【優 秀 賞】大分市

【奨 励 賞】豊田市エコ交通をすすめる会

【奨 励 賞】湖東圏域公共交通活性化協議会

【奨 励 賞】災害時公共交通情報提供研究会



### ○受賞団体講演

「環境にやさしい小豆島の持続可能な公共交通再生への挑戦」

土井 健司 小豆島地域公共交通協議会会長

「再エネとICT を活用した中山間地域で持続的に支えあう交通づくり」

鈴木 隆良 みんなと湊まちづくりネットワーク事務局長



## パネルディスカッション 「パリ協定に向けた持続可能な交通システム」

コーディネーター：太田 勝敏 東京大学名誉教授  
パネリスト：室町 泰徳 東京工業大学環境・社会理工学院准教授  
桑田 龍太郎 大分市 副市長  
渡邊 敬 国土交通省総合政策局環境政策課 地球環境政策室長  
庄子 真憲 環境省水・大気環境局 自動車環境対策課長

### 【概要】

本フォーラムでは、環境的に持続可能な交通、とりわけ地球温暖化防止に資する交通の在り方などをテーマに議論を深めてきた。2015年12月にフランスでCOP21が開催されて、京都議定書以来の国際的枠組となるパリ協定が採択された。来年はパリ協定が開始される2020年となり、我が国としても中長期的な視野で地球温暖化対策を進めることとなる。そのため、環境的に持続可能な交通システムへの期待が一層高まることが予想される。

環境的に持続可能な交通システムについて理解を深めるため、前半、京都議定書の発効から今まで運輸部門で取り組んできた対策や第10回EST交通環境大賞で受賞された取組み等から現在の状況について確認した。後半は、パリ協定の開始に向けて運輸部門で必要となる対策や取組みなどを検討し、環境的に持続可能な交通システムの重要性について討議した。

